



発行

公益財団法人 兵庫県
身体障害者福祉協会
神戸市中央区坂口通
2丁目1番1号
兵庫県福祉センター6階
TEL 078-242-4620
FAX 078-242-4260
発行人 和田 修

令和三年 新年のごあいさつ



公益財団法人
兵庫県身体障害者福祉協会
理事長 和田 修

新年あけましておめでとうございます。皆様には、ご健勝にて新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素は、当協会の事業推進につきまして、井戸兵庫県知事様をはじめ、

令和三年新春メッセージ 危機を乗り越え、 ポストコロナの新時代に挑む



兵庫県知事
井戸 敏一

新年あけましておめでとうございます。昨年は、新型コロナウイルスとの戦いの年でした。しかし、未だ終息にはほど遠い状況です。

一方、コロナ禍は社会を変革する契機ともなりました。県民とともにこの危機を乗り越え、地域創生やデジタル化に力強く取り組み、ポストコロナ社会を先導する

兵庫県健康福祉部の職員の皆様方、また、各市町の職員・各市郡町の身体障害者団体の皆様方等、多くの皆様方から、格別のご指導とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、今年に入ってから、新型コロナウイルス感染の収束が、未だ見えない状況が続いており、皆様方も、感染予防に万全を期されて日々お過ごしのこととご拝察いたします。

昨年は、緊急事態宣言の発令や三密の回避・マスクの着用・手洗いの励行等の

活力あふれる兵庫をめざします。令和三年は本格的に歩みを進める年とします。

第一は、新型コロナウイルス対策の充実。自宅療養ゼロを堅持しつつ、入院病床や宿泊療養施設を十分に確保します。マスク着用の徹底、検温の実施、外出抑制、感染リスクの高い施設の利用を控えるなど、家庭、職場、施設へウイルスを持ち込まない地道な取組が何より大切です。一人ひとりの行動が大切な家族や友人、仲間の命を守ることにつながります。是非、ご協力をお願いします。

第二は、兵庫の元気回復。経済の下支えを図りつつ、スタートアップ拠点を活用した起業・創業の支援、新たなサブラ

新しい生活様式の開始により、当協会では計画していた事業を中止したり、オンラインで開催したりと、異例づくめの一年でしたが、今年は、何とか一日も早い収束を祈るばかりです。

ところで、近年、障害者にかかる様々な制度改革や法整備が図られ、障害者施策は大きく前進していますが、まだまだ多様化したニーズに十分対応できていないと言え、障害者に対する差別意識等も根強く残っているというのが実状ではないかと思っています。

そのためにも、障害のある私たち自身が、国・県・市町等に任せ放しにするのではなく、地域社会の中で障害理解の発信者として、障害に対する正しい理解と差別や偏見を生まない意識を育てていくために行動していくことが大切ではないかと思っています。

イチエーの構築を後押しします。兵庫と東京を専用回線で結び、情報ネットワークにより東京圏からの企業誘致も促進します。農林水産業のスマート化も急務です。都市部から地方への潮流を捉え、兵庫への呼び込みを図ります。

第三は、安全安心の基盤強化。コロナ禍でも自然災害は待ってくれません。地震・風水害に備える安全な県土づくりを進めます。県民が安心して暮らせる福祉の充実も強化します。

第四は、ポストコロナも見据えた兵庫の未来づくり。「二〇三〇年の展望」を具体化する取組を進めるとともに、二〇五〇年頃を目標年次とする新ビジョンの策定に向けた検討を加速させます。

そして、障害者も社会の一員として自立し、誰もがどこでも安心して暮らせる社会、地域生活が保障される社会の実現を目指して、全国の障害者や福祉団体と手を携えて、共に頑張っていきたいと思っています。

最後に、今年一年もこれまでと同様、当協会に対しまして、一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。また、本年が皆様方にとりましてより良い年になりますよう心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



我々は、戦災、様々な自然災害など、幾度も危機を乗り越えてきました。阪神・淡路大震災もそうでした。

再び、県民の叡智を結集して、兵庫の新時代とともに築き上げるため、挑戦していこうではありませんか。

コロナ禍を乗り越えていく 県民の
ひたむきな歩み 夢をめざして



兵庫県身体障害者福祉協会理事長表彰受賞者が決定しました

地域身体障害者団体育成功労者表彰 15 名

地域身体障害者支援功労者表彰 1 名

ボランティア貢献感謝表彰 1 団体

永年にわたり地域の身体障害者団体の育成強化に多大な貢献をされた方々、また永年にわたり地域において身体障害者の支援に貢献された方や団体に対して、感謝と敬意を表するため、当協会理事長から表彰させていただきます。

例年は、兵庫県障害者福祉大会、兵庫県障害者芸術・文化祭において、表彰式を行っていましたが、今年は、新型コロナウイルス感染症状況に収束の見通しが立たないため、中止となり、表彰式は各地域で行っていただくことになりました。

当協会の理事長表彰を受けられた方々は次のとおりです。(敬称略)

地域身体障害者団体育成功労者表彰 15 名

奥野 しず子	久保田 恵美子	衣川 孝司	雨堤 治	稲垣 公子	坂井 正明	稲垣 伸一	古谷 英雄
	西村 文夫	南山 和弘	芦田 邦子	近本 義明	中川 武	中田 保子	西脇 邦夫

地域身体障害者支援功労者表彰 1 名

八瀬 一彦

ボランティア貢献感謝表彰 1 団体

ガイドヘルプボランティア ひびき

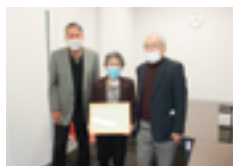
受賞された方々には、深く感謝とお礼を申し上げます。また、ご推薦いただきました地域団体、関係者の皆様にも心からお礼申し上げます。

各地域より受賞の様子が

報告されました!



(丹波市受賞者)



(南あわじ市受賞者)



(稲美町受賞者)



(豊岡市受賞者)



(豊岡市受賞者)



(洲本市受賞者)

障害者のための弁護士・福祉専門職無料法律相談

(毎週火・木曜日 13:00~16:00)

※祝日・年末年始を除きます。木曜日は兵庫県弁護士会の自主事業として実施しています。



相談



差別や虐待、悪徳商法、財産管理等々。法律に関わる問題について困っていることはありませんか? 皆様のお悩みに、弁護士と福祉専門職(社会福祉士・精神保健福祉士等)が三者同時通話システムを使って無料で対応します。

相談対象者: ①障害者(本人) ②家族や支援機関の職員 ③行政機関の職員
④障害者雇用の企業担当者等

電話: 078-362-0074

FAX: 078-362-0084

※法的な観点からの助言を行うものであり、差別事案等の解決まで保証するものではありません。
※ファクスにつきましては、回答文書作成等のために時間を要することがありますので、あらかじめご了承ください。
※この法律相談は高齢者向け相談と併せて実施しています。

【お問い合わせ先】

兵庫県健康福祉部障害福祉局障害福祉課

TEL: 078-362-9104

FAX: 078-362-3911

子どもたちによる「みんなの声かけ運動」 ポスター・絵画作品の紹介

兵庫県内の子どもたちが「みんなの声かけ運動」を広く県民に知っていただくため、「思いやり」をテーマに多くのあたたかな作品をよせてくれました。

今後ますますあたたかな思いやりの輪が、みなさんの身近な地域で広がっていくことを願っています。

「みんなの声かけ運動」とは？

兵庫県では年齢、性別、障害の有無、言語、文化などの違いに関わりなく、すべての人が地域社会の一員として尊重され、互いに支え合い、一人ひとりが持てる力を発揮して活動することができるユニバーサル社会の実現を目指しています。

その一つとして、誰もが街なかで困っているときに声をかけて助け合う「みんなの声かけ運動」を実践しています。



神戸市立有馬小学校1年
伊勢野 和花



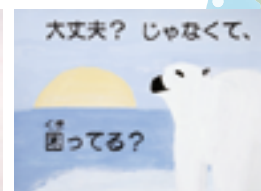
加古川市立平岡北小学校6年
村上 結衣



神戸市立横尾小学校6年
笹川 莉瑚



兵庫大学付属須磨ノ浦高等学校2年
山本 未来



兵庫県立氷上西高等学校2年
田口 大樹

アトリエラフラフ（芦屋市）



芦屋市立朝日ヶ丘小学校1年
柳原 優太



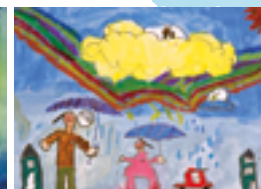
芦屋市立岩園小学校2年
松岡 璃子



芦屋市立岩園小学校2年
横井 彩那



芦屋市立岩園小学校6年
沖森 柚奈



芦屋市立打出浜小学校1年
直林 ふじの



芦屋市立打出浜小学校2年
たくま もみじ



芦屋市立打出浜小学校3年
お形 花の



芦屋市立打出浜小学校3年
湯川 律



芦屋市立打出浜小学校3年
山下 甲太郎



芦屋市立打出浜小学校4年
杉野 りっか



関西学院初等部4年
深田フィリップ 隼



関西学院初等部5年
田所 りさ



西宮市立香櫨園小学校3年
福島 駿希



芦屋市立潮見小学校3年
木村 音々



芦屋市立潮見小学校3年
三木 春果



芦屋市立潮見小学校3年
三浦 春輝



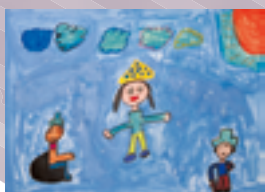
芦屋市立潮見小学校4年
新川 陽彩



芦屋市立精道小学校1年
村上 ひろあき



芦屋市立精道小学校1年
すすき みこと



芦屋市立精道小学校2年
寺方 咲羽



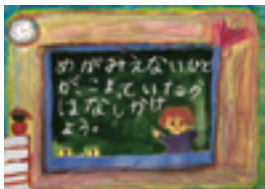
芦屋市立精道小学校3年
勢志 陽和



芦屋市立精道小学校3年
黒田 彩愛



芦屋市立精道小学校4年
中柴 さき



芦屋市立宮川小学校1年
市村 はる



芦屋市立宮川小学校3年
いかい まゆ



芦屋市立朝日ヶ丘小学校3年
柳原 真理子



芦屋市立岩園小学校3年
林 ゆうたろう



芦屋市立打出浜小学校4年
豊嶋 武蔵



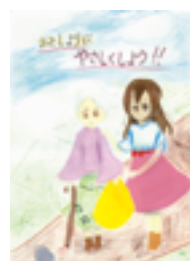
芦屋市立打出浜小学校4年
小原 早菜



芦屋市立聖心女子学院小学校
仲川 心



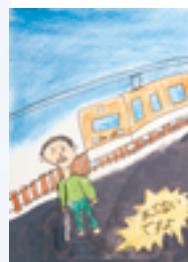
芦屋市立潮見小学校5年
倉本 莉子



芦屋市立精道小学校4年
多田 さき



芦屋市立精道小学校4年
河合 小雪



芦屋市立宮川小学校3年
浅岡 煌人



芦屋市立山手小学校2年
河内 紗良



芦屋市立精道中学校3年
矢吹 美皇



芦屋市立精道中学校3年
寺方 咲羽

神戸市立高丸小学校



5年 坂口 芽衣



5年 嶋本 成峻



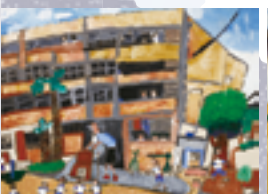
5年 清瀬 悠人



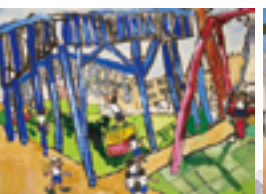
5年 河田 璃音



6年 福井 太陽



6年 島 凜那



6年 川口 陽規



6年 泉 大地



6年 木下 奏太



6年 片山 莉紗



5年
藤田 弥友



5年
松永 莉亜奈



6年
瀬戸 瑛里



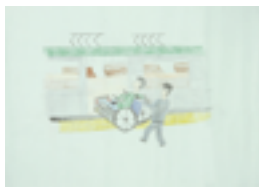
兵庫県立伊丹北高等学校



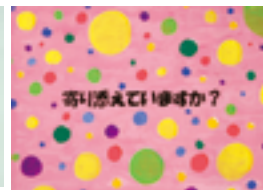
2年 森原 司



真島 萌果



瀬戸口 悠聖



3年 鳥飼 理



3年 西代 茉旺



2年 小松 果穂



3年 中山 優花



3年 久保 南帆



2年 石井 希華



3年 松永 かな子



2年 森下 夏実



2年 岩永 咲季



2年 石田 涼



3年 北浦 佳奈



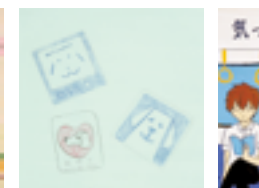
3年 植地 桃香



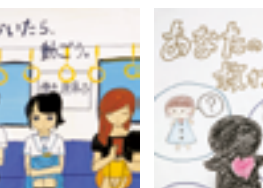
3年 八尾 菜菜



2年 福井 沙耶



2年
橋本 隆吾



2年
渡辺 夕理



3年
上山 結音



2年
市川 ひなた



2年
飯田 泰成



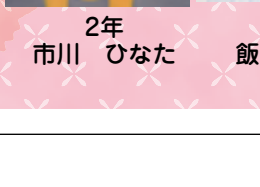
2年
正脇 及愛



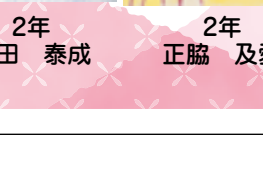
2年
鈴木 朱莉



3年
田中 智美



2年
鯨島 千尋



3年
杉原 泉

The collage consists of 30 individual hand-drawn posters and illustrations, arranged in a grid-like fashion. Each piece promotes themes of social support, community aid, and mutual assistance. The drawings are done in a simple, hand-drawn style, often using markers or paint on a light background. The text is primarily in Japanese, with some English words like 'Welcome' and 'We're all in this together!'. The illustrations include various symbols of aid, such as hearts, hands, and people helping each other. The overall tone is positive and encouraging.

Key themes and elements visible in the posters include:

- Helping Hands:** Several posters feature drawings of hands reaching out to help, often with the text '助け合おう' (Let's help each other) or 'お手伝いします!' (I will help!).
- Community Support:** Posters like '困っていたら声をかけて助け合おう' (If you're in trouble, please help!) and 'みんなで助け合い' (Let's help each other together) emphasize the importance of community support.
- Emotional Support:** Some posters focus on emotional well-being, such as '元気だよ' (I'm healthy!) and 'あなたの目が' (Your eyes).
- Accessibility:** One poster features a drawing of a dog and the text '補助犬' (Guide dog), highlighting the role of service animals.
- Welcoming Atmosphere:** A poster with the text 'Welcome!' and a drawing of a smiling face promotes a welcoming environment.
- Positive Messages:** Many posters include positive messages like '言葉一つでも大きな手助け' (Even one word is a big help) and 'みんなで助け合い' (Let's help each other together).

The posters are displayed against a background of colorful, abstract shapes, including hearts and circles, which adds to the overall positive and supportive theme of the collection.

作品をよせていただいた皆様、ご協力ありがとうございました。

「みんなの声かけ運動」 推進員になりませんか？

兵庫県ではだれもが街なかで困っているときに声をかけて助け合う「みんなの声かけ運動」に取り組んでいます。この取り組みは皆さんの身近な地域で困っている人を見かけたら、「何かお手伝いしましょうか？」などと声をかけてサポートしていただく自主的な活動に支えられています。現在、兵庫県では約5千名を超える方に登録いただいております。障害者のサポート方法等についての研修交流会、イベント等での普及啓発活動へのボランティア参加など、種々ご協力をいただいています。兵身協では、この活動を地域で実践、応援していただく「みんなの声かけ運動」推進員を募集しています。行事や事業への参加の義務はありません。年齢、性別、障害の有無に関わりなく、どなたでも推進員になっていただくことができます。

ぜひ一緒に活動しませんか？推進員

にご協力いただける方は事務局まで

メール、お電話などでお申し込みくだ

さい。

兵庫県身体障害者福祉協会

電 話 078-242-4620

FAX 078-242-4260

メール koekake@hyoshinkyoy.jp

「ひょうごスタイル」推進事業

このたび、こころ豊かな美しい兵庫推進会議が実施する「新型コロナウイルスの感染拡大を予防する「ひょうごスタイル」推進事業」に補助金申請をしたところ、交付が決定しました。この事業は、新型コロナウイルスの感染拡大を予防する新たな生活様式「ひょうごスタイル」を推進するための支援として行われており、普及啓発にかかる費用を補助していただくことになりました。兵身協ではマスク、除菌スプレー、除菌ウエットティッシュ、フェイスシールドなどを購入し、各ブロックや障害別団体で行われる兵身協自主事業において啓発活動を行っていただくため、事務局へお送りさせていただいたところです。その中でも、北播ブロックで行われた事業について、報告がありましたのでご紹介させていただきます。



ひょうごスタイルで開催！ 北播ブロックより報告

北播ブロック身体障害者
福祉団体協議会

令和2年11月5日、加西市健康福祉会館大ホールで地域啓発活動及び総合研修会を開催しました。

第一部では功労者表彰式典が開かれ、永年にわたり各地域で障害者問題を身近なものと考え、理解と支援の輪を広げるよう活動されている方々の表彰が行われました。第2部では、演芸鑑賞会と題して、地域の腕自慢、のど自慢の方々が太鼓合奏、浪曲、民謡などを披露され、尺八や三味線、カネ、はやしの伴奏も加え華やかな演芸会を鑑賞いたしました。

会場では「久しぶりやなー」「元気しとったかー？」という声があちらこちらで聞こえ、北播の各地域の市町を超えた会員同士の楽しく話をされている姿を久しぶりに見ることができました。

当日の感染予防対策としては、広い会場で換気を行い、例年よりも参加者を減らし、座席の前後左右間隔を開けるようにして座り、3密をさけ、受付

では、ひょうごスタイルのチラシを掲示し、体温測定とアルコール消毒を実施しました。また、マスクを忘れてきた方には、マスクを配付しました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、例年通りの集まりや活動はできなくなっているものの、こういった時こそ、ひょうごスタイルに則った感染拡大予防対策をとりながら、会員同士の繋がりを保持する活動を行っていくことは大切だと、改めて感じました。



受付にチラシ、消毒液、マスクを設置



座席は間隔をあけて着席

「みんなの声かけ運動」 出前講座を実施しました

平成29年度から3カ年かけて、みんなの声かけ運動強化事業として、代表的な身体障害（視覚・肢体・聴覚）について、障害種別に応じた障害者への適切な声かけや支援方法の啓発DVDを作製しました。

そのDVDを活用して自治体、企業、各種団体等に対して、障害者への適切な声かけ方法等を学ぶ出前講座を実施してきました。

また障害者への声かけは、子どもの頃に学習した方がより効果が高いと考えられることから、令和2年度は学校への出前講座も行いました。

皆様のあたたかい配慮や困った時に声をかけて下さることは、障害当事者の方が地域の中で安心して生活していくためにもありがたいことです。出前講座を通じて障害のある人の暮らしや困りごとなどを知っていただき、皆様の身近な地域で困っている人に気づいたらお声かけいただけると幸いです。

なお、この出前講座は来年度も引き続き行う予定です。実施等に関するお問い合わせは、兵身協事務局までご連絡いただきますようお願いいたします。

〔問合せ先〕

兵庫県身体障害者福祉協会事務局
(担当：宮本)

電話 078-242-4620

障害者ほっとライン

身体障害のある方の相談に応じるため、常設の相談窓口を開設しております。障害のある方、ご家族の方どうぞお気軽にご相談ください。



家族・生活上の悩み、
経済支援や仕事、健康・福祉サービス等、
専門のスタッフによる
相談窓口です。

相談窓口専用電話&ファックス

TEL 078-230-9545

FAX 078-230-9553

受付時間 10:00~16:00

相談日：月曜日～金曜日

※土日・祝日及び年末年始はお休みです

木工体験と美術鑑賞文化交流会を開催

コロナ禍でスポーツ大会の中止が相次ぐ中、ソーシャルディスタンスが取れる事業として、文化交流会を初めて企画し、令和2年11月7日（土）、兵庫県立美術館において、「木工体験と美術鑑賞文化交流会」を開催いたしました。有限会社アルブルの米地代表を講師としてお招きし、「木の話と木工体験」桜の木で作るお箸作り」と題して、お箸作りを体験していただきました。桜の木は杉やひのきと違って、比較的硬く高級感のある木です。今回は桜の木を使ってマイ箸を作成。丁寧にヤス

りをかけ、電気ゴテで名前を焼き入れし、クルミの油で仕上げました。落ち着いた雰囲気の中で作成し、満足のいく作品が仕上がりました。木工体験終了後は、兵庫県立美術館のミナペルホネン／皆川明つづく展の美術鑑賞を行いました。参加者からは、「ゆっくりとしたペースで作成することが出来た」、「きめの細かい指導で良いものが出来た」と、感想をいただきました。三密を避け、ひょうごスタイルを取り入れ、芸術の秋を楽しめた体験型交流会となりました。



“おんせん”と“うまいもん”でおもてなし
冬のひとときを保養荘で



あじさいプラン
平日1泊2食 1室2名様利用
大人お一人様（障がい者手帳をお持ちの方）
6,650円～（税込）

※宿泊料は時期により異なります

その他色々なプランがあります。詳しくはHPへ！

浜坂温泉保養荘



☎(0796)82-3645

〒669-6702 兵庫県美方郡新温泉町浜坂775
<http://www.hamasaka-ni.com/>